

秦野市国際交流協会

国際理解講座

「地域の多文化共生を目指そう！」

とき 3月27日(土) 午後1時～3時

ところ ほんちょうこうみんかん かい おんがくしつ ちゅうかいぎしつ
本町公民館2階 音楽室・中会議室
 秦野市入船町 12-2 TEL0463-84-5100

第1部 「フィリピン・アフリカを助ける会のビデオ上映」 ～シスターYマリアの足跡を振り返る～

外国籍市民支援やフィリピン・アフリカでのボランティア活動を長年にわたって取り組んできた故シスターマリア。その献身的な活動を通じて世界の現状を理解し、身近なところでの国際協力ができることはないだろうか？ いっしょに考えましょう。



シスターマリア

第2部 「パネルディスカッション」 ～秦野市の多文化共生を考える～



母国を離れて生活している外国人で、生活習慣、文化、宗教の違いや生活上で悩みを抱えて生活している人はたくさんいます。同じ市民として、私たちができることは何かないのでしょうか？ 日ごろから外国籍市民への支援活動をされている人たちといっしょにお話しをして、あなたにもできることを見つけましょう。

(パネラー) 聖マリア修道女会、日本語教室、東海大学国際学科准教授、
 上智短期大学家庭教師ボランティア

ボリビア人による
 ギター演奏もあるよ

第3部 「交流会」

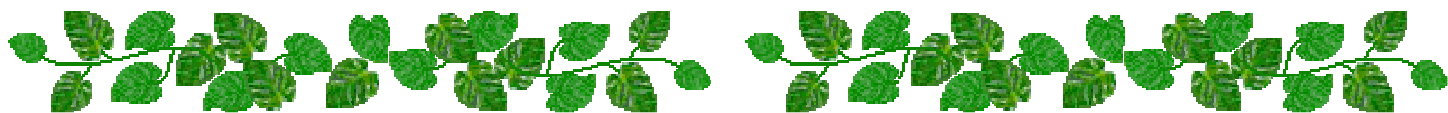
ボリビアのお菓子を食べながら、
 参加者の皆さんといっしょに交流を深めましょう。



定員：先着40名(申込み先着順) 参加費：無料

申込み：秦野市国際交流協会事務局（秦野市市民自治振興課内）TEL 82-5118





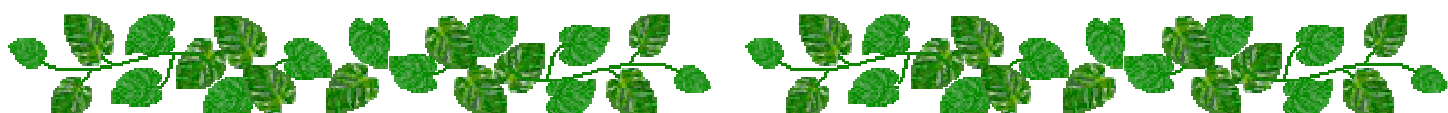
秦野市国際交流協会 「国際理解講座」

～地域の多文化共生を目指そう!～



日 時 平成22年3月27日(土) 午後1時～3時

場 所 本町公民館音楽室・中会議室





プログラム



1 開会あいさつ

2 第1部

「シスターマリアの足跡を振り返る」

フィリピン・アフリカを助ける会のビデオ上映

3 第2部 パネルディスカッション

「秦野市の多文化共生を考える」

〈パネラー〉

○聖マリア修道女会アジア管区管区長・

元上智短期大学教授 羽場勝子

○日本語教室代表

石田憲一郎

○上智短期大学2年生日本語家庭教師ボランティア

星川久美子・新田百香

○東海大学教養学部国際学科准教授

小貫大輔

〈コーディネーター〉

○秦野市国際交流協会副会長

鈴木三千子

4 第3部

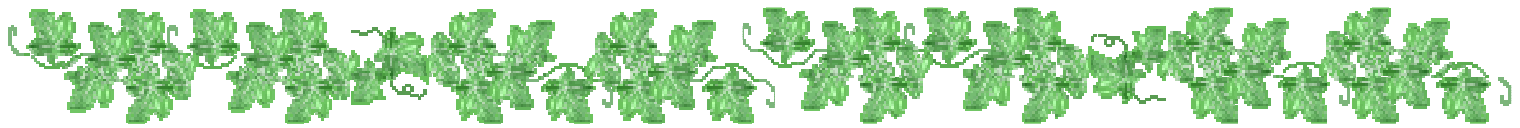
「交流会」

○Mr.ダンディー（ボリビア出身）による

ギター演奏

5 閉会あいさつ





献身の宣教師：シスターマリア Maria Maldonado odn



- ・ 1931年2月27日スペイン・グラナダで生まれる
- ・ 50年5月聖マリア修道女会にて初誓願
- ・ 55年5月盛式誓願立願
- ・ 61年1月宣教師として日本に派遣。同会創立グループとして献身
特に女子学生寮における信仰教育や生活の中での人間形成に尽くした
- ・ 秦野市に移ってからは、「国際交流懇談会」「日本語教室」「インドシナ難民を助ける会」などの活動を通じて、外国籍市民への支援や、国立病院神奈川病院などの社会奉仕に精力的に携わった
- ・ 79年ハンセン病患者の多いフィリピン・クリオン訪問を契機に「フィリピン・アフリカを助ける会」を設立し、貧しい人々への支援を続けた
- ・ 2008年12月48年にわたる日本での働きを終え、スペインに帰国
- ・ 翌1月19日77歳で逝去



聖マリア修道女会



Compania de Maria

秦野修道院は、今7名の会員が派遣されています。主な活動として、教会活動、地域特に外国人家庭の援助など、日常の活動もたくさんあります。

日本語教室

東南アジアの人々と共に歩む会

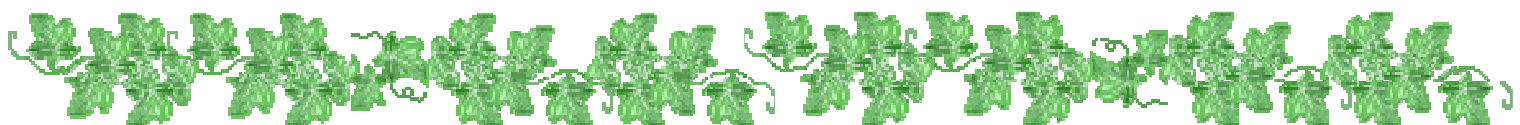
&

中南米の人々を考える会



東南アジアの人々と共に歩む会と中南米の人々を考える会との共同運営で、秦野市に住む外国籍市民の生活をさまざまな方法でお手伝いしているボランティア団体です。日本語学習の教室や生活相談、各種イベントを開催し、日本人との交流を促進させる活動をしています。

第1・3・4日曜日に、はだの子ども館で日本語教室を開催しています。





日本語家庭教師ボランティア

ボランティアは毎週1回・1時間、生徒の自宅・又は教会などに向かい、主に子どもには学校の宿題、授業の予習・復習、テスト勉強を教え、両親の方には日本語を教えています。

また時には、生徒の悩みや進路相談にのったり、役所に提出する日本語の書類作成を手伝ったりと勉強以外の生活の面でも活躍をしています。ボランティアは支援するだけではなく、生徒の家族から母国語や文化を教えてもらったり、祖国料理をご馳走になったりと異文化交流の中で、自らも学んでいます。

東海大学教養学部国際学科准教授

小貫大輔

専門分野

国際協力・人間開発（教育・保健・医療分野）

異文化間コミュニケーション



2006年に東海大学で教えるようになるまでの20年ほどの間、ブラジルなどの発展途上国で国際協力の仕事に携わってきました。市民社会組織の活動と日本政府の開発援助の活動、両方の経験があります。大学では、その経験を活かして「Global Issues」、「国際協力とNGO」、「ラテンアメリカ研究」などの授業を担当しています。





田代会長の開会あいさつ



第1部では、シスターマリアの活動DVDの上映をしました。



第2部のパネルディスカッションでは、各パネラーがそれぞれの活動内容を発表。



上智短期大学の生徒もパワーポイントを使ってボランティア活動を発表しました。



参加者からもパネラーに対して、質問があげられました。



シスターマリアと親交のあったボリビア人のダンディーさんが素敵な歌声を披露してくれました。



シスターマリアがアフリカで活動された写真を展示。



第3部の交流会では、自分達の活動内容についてや、シスターマリアについての話で大変盛り上がりました。